

いのちのたび

臨時休館 令和6年6月10日(月)～16日(日) 館内燻蒸(害虫駆除)のため



木々の緑が鮮やかな季節となりましたが、日中の暑さ対策にも注意が必要な時期です。さて、今回は来館時に利用できる体験プログラムやワークシートについてご紹介します。

体験学習

博物館では、展示見学だけでなく、「体験学習プログラム」もご用意しております。

※()は、一人当たりの料金



化石発掘(400円)

約30万年前の地層から切り出した石を使って、化石を探します。発見した化石は記念に持ち帰ることができます。



勾玉づくり(250円)

昔の人々が勾玉に込めたの思いを感じながら、滑石を削ります。世界に一つしかないオリジナルの勾玉を作ります。



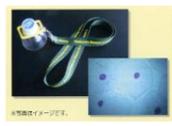
化石レプリカづくり(250円)

実物のアンモナイトから取った型で、化石レプリカを作ります。大きさや形は本物と同じものができあがります。



古代の鏡(250円)

古代中国の技術を受け継ぎ、日本で作られた銅鏡のミニモデルを作ります。小倉南区金山遺跡から出土した鏡がモデルです。



ペットボトル顕微鏡(250円)

ペットボトルとビーズ玉を使って、およそ100倍の倍率をもつ顕微鏡を作ります。恐竜柄のペットボトルホルダーも魅力です。



古銭づくり(250円)

昔ながらの鑄造という方法を使って「和同開珎」を再現するプログラムです。日本の銭貨の歴史も学ぶことができます。

先生、ちょっと聞いて!

～館内見学もワークシート利用で効果的に～



博物館のホームページには、楽しく見学するためのワークシートや学習の支援をするワークシートなど、発達段階に応じた様々なシートを準備しています。

ぜひ、ホームページを確認の上、博物館にお越しください。



<探し方>トップページから
団体の方へ ワークシート

着任した職員紹介 (学校対応)



普及課長
江藤 博明



ミュージアムティーチャー
酒井 康年

ミュージアムのタネ

遺跡って
おもしろそうだよ!



身近な「遺跡」に行ってみよう!

皆さんは「遺跡」を見たことがありますか?教科書に載っている「吉野ヶ里遺跡」や「大仙古墳」などと同じ時代の遺跡は、私たちの住む北九州市でもたくさん見つかりました。私たちが住んでいる家や学校の下を掘ると、たいがい遺跡が見つかります。

小倉南区重住にある弥生時代後期の「重留遺跡」から出土した広形銅矛という祭祀専用の青銅器は、国宝に次ぐ、国指定重要文化財になっています。銅矛が使われていた様子が分かった例としては、国内唯一のものです。

また、若松区頓田にある古墳時代後期に作られた「こうしんのう古墳群」からは、水晶を加工して作った美しい首飾りが出土しています。古墳の一部は工事によって壊されましたが、海に面したその立地から、海に暮らす「海人」の墓と考えられています。

小倉北区の日明小学校のすぐそば、市の指定史跡となっている「日明一本松塚古墳」はその奥壁に赤い絵が描かれたことで有名な古墳です。赤い装飾の意味は良く分かっていませんが、その時期は6世紀末と考えられ、この地域の王が葬られた墓です。

このように教科書にこそ載らないものの、大昔からたくさんの人々がこの町に暮らしていたことがわかります。同時に土木工事や金属加工などの高度な技術をもたらした「渡来人」の存在を示す資料も数多く出土しています。

また、弥生時代や古墳時代だけでなく、平安時代や江戸時代の遺跡も数多く見つかり、いのちのたび博物館にはさまざまな出土資料を展示しています。

市内各所には遺跡や史跡を案内する看板、「文化財案内板」が立っていますので、散歩がてら、住まいや学校の近くで遺跡を探してみませんか?きっとすてきな発見があると思います。



小倉南区・重留遺跡出土遺物



若松区・こうしんのう古墳群出土
水晶製首飾り



小倉北区・日明一本松塚古墳復元

考古学担当学芸員 宮元 香織